

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 24 年度 高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会
開 催 日 時	平成 24 年 10 月 3 日 (水) 10 時 30 分 ～ 12 時 10 分
開 催 場 所	高松市役所 3 階 32 会議室
議 題	(1) 2009 (平成 2 1) 年度温室効果ガス排出量等について (2) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	17 人
	嘉門会長，熊副会長，足立委員，泉川委員，井上委員，片山委員，勝浦委員，河崎委員，川田委員，川原委員，熊野委員，白井委員，千葉委員，藤岡委員 (代理：横山)，古川委員，松木委員，横山委員
欠 席 委 員	1 人
傍 聴 者	なし (傍聴席：10 席)
担 当 課 お よ び 連 絡 先	環境総務課地球温暖化対策室 (TEL 0 8 7 - 8 3 9 - 2 3 9 4)

### 審議経過および審議結果

協議会を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。

次のとおり、協議会を開催した。

- (1) 2009 (平成 2 1) 年度温室効果ガス排出量等について  
(事務局より説明)

以後審議  
(委 員)

三点あるが、一点目は資料 13 ページによると、6 月と 12 月に環境イベントを開催して地球温暖化対策を啓発しているということだが、ある民間団体が環境への活動についてアンケートを実施しており、都道府県の順位や割合を数字をうまく使って発表している。こういったデータは非常におもしろく興味を持って見てもらえるので、イベントでうまく使っていくことが、啓発になると思う。

二点目は、3 ページの民生家庭部門の推移である。2009 年の二酸化炭素排出量は 1990 年に対し 23%増加しているが、この年はエコポイントの活用によってグリーン家電の普及が始まっている年で、かなり減っているのかと思っていた。実際はかなり増加していることを、市はどう考えているのか。

三点目は、18 ページの事業系ごみの分別というところにある各企業からの「一般廃棄物減量等計画書」に基づく、削減が顕著な企業の表彰を考えていないのかと昨年質問した際、検討しているとのことだったが、その後、実施に向けての見通しを聞きたい。

## 審議経過および審議結果

(事務局)

一点目であるが、イベントでパネルを展示するなど、市民の皆様に地球温暖化対策について啓発しているところだが、数値化というのは感覚的に分かりやすいので参考にしたいと考えている。また、今年6月に開催した環境展では、企業の協力を得て、3日間、電気自動車を展示した。今後のイベントはより効果のあるものにしていきたいと考えている。

二点目であるが、電気の使用に伴うCO<sub>2</sub>排出係数が前年より上がっている影響により、全体的に温室効果ガス排出量が増加していると考えます。

三点目の表彰制度については23年度に提出いただいた中から優秀な4社の表彰から始めることとしたが、表彰式が24年度に行うことになったため、23年度実績としては記載していない。

(会長)

6、7ページの進行管理指標のうち、23年度の実績値が目標の方向と逆行しているものがあるが、原因等の分析をしているのか。

(事務局)

ごみ全体の排出量は22年度までは減少していたが、23年度は増加している。ここ数年の傾向を見てみると、紙・布を中心とした資源ごみの量が減ってきている。資源ごみ以外については23年度は22年度に比べ若干増加しているため、結果としてリサイクル率が低下したという状況である。いずれにしても家庭ごみも含め、ごみを減らせるような体制作りを考えているところであり、新たには、携帯ゲーム機などの小型家電を回収してリサイクルする取組を検討しているところである。また、下水汚泥消化ガスの利用が減少しているのは、下水処理場で発生した消化ガスをボイラー燃料として利用し、加温しているが、従来の温度38℃に加温するには、それに伴いたくさんの水道水が必要になるので、その節約も兼ねて少し下げて(35℃)加温している。そのため利用量が減少している。この消化ガスは利用している量であり、他に余っているガスもあるので、今後、消化ガスを利用した発電方法についても検討していきたいと考えている。

(委員)

消化ガスの関係で、従来の温度から少し下げることによって、ガスがいらなくなる方向に動いたということだが、再利用の絶対量で捕らえていくのがいいのか、再利用率で捕らえていくのがいいのかということを含めて検討してもらいたい。

(事務局)

今後、協議して考えていきたい。

(会長)

進行管理指標のうち、事業所用太陽光発電システムでは、市の補助はなくなるが、固定価格買取制度により高額で買い取られているため、目標の達成は可能と見込まれるがと思われるがいかがか。

(事務局)

今年度だけでも40件以上申請があるので、指摘のとおり目標は達成できると思われる。

(委員)

7ページのパーク・アンド・ライドの調査が実施されなくなったということがあるが、

## 審議経過および審議結果

どうしてなのか。他にレンタサイクルも指標としてあるが、公共交通の利用を促進するうえで、数値化は有益で、大切だと思う。

(事務局)

公共交通の利用を促進するうえで、施策としてのパーク・アンド・ライド駐車場の整備やレンタサイクルは十分必要と認識している。パーク・アンド・ライドの実績値については、県がデータ元となる調査を行っていたが、現在は行われていないので、示す指標値がないという状況であるため、御理解いただきたい。

(委員)

資源ごみの収集量が少なくなっているという話があったが、プラスチックもペットボトルも洗ってきれいにしておいたら資源になるという啓発が必要ではないか。また、14ページのイベントのところでカーフリーデーを行って、その参加者数が書かれているが、公共交通を利用して参加した人がどのくらいいるのかということが大事である。

(委員)

周りの人で、ゴーヤの緑のカーテンに取り組んでいる人が増えているが、余ったゴーヤを周りに配れる人はいいが、どうしようもなく結局ごみとしている人もいる。余った人はどこかに持っていきと受け取ってもらえるなどのシステムがあれば、作る人は励みになるのではないか。

(委員)

ゴーヤは佃煮にするとおいしく日持ちもするので、加工食品として流通するシステムがあれば良いと思う。

(委員)

1ページにある家庭部門の温室効果ガス排出量を見ると増加傾向にあるので、常に市民に省エネやエネルギーについて関心を持った生活をしてほしいという啓発的なものを考えてもらいたい。8ページに市民参画による共同発電の検討とあるが、市民の発電事業に関する感心も高いので、情報提供をしてほしい。9ページに小水力発電について記載があるが、高松市は海に面しているので、潮力や波力発電など、難しいかもしれないが、視野に入れてはどうか。

(事務局)

市民への省エネの働きかけだが、今夏については電力の需給状況を踏まえ、「節電チャレンジ」として節電を呼びかけたところである。今後とも、色々な媒体を通じて各家庭の市民の方には省エネの重要性を啓発していきたい。

市民共同発電については、将来、市民等に出資を募ってファンドを設置し、太陽光発電事業を行いたいという業者が市内にあるので、今後の動向を見ていきたい。

次に、水力に限らず色々な再生可能エネルギーがある中で、本市の特徴としては太陽光が一番向いており、事業化もしやすいと思うので、そちらに力を入れていきたい。

(委員)

6、7ページの評価の一覧の中で、評価が低いものについては改善策を記載してほしい。PDCAサイクルでは評価が低いものに改善策があつてこと進化していくものだと思う。

(委員)

## 審議経過および審議結果

高松市ではレジ袋等削減に関する協定を事業者等と結んでいるが、レジ袋を削減することはCO<sub>2</sub>削減に結びつくので、ぜひ業者に協力していただけるよう取り組んでほしい。

(委員)

レジ袋が有料になるくらいにならないと、レジ袋を持って行かない人が多い。市民にレジ袋を出さないという共通意識に持っていく工夫が重要であると思う。

(委員)

レジ袋を有料にしているのは、全国的に見れば独自に有料化しているスーパーもあるが、香川県の場合はスーパーだけ有料化するというのも、色々な問題があり、難しい。基本的に有料化は行政の条例により実施しているのが大方の流れである。また、一部店舗で資源回収を始めたりしている。

(会長)

委員の意見を踏まえて、資料の改善、また今後の取組をお願いしたいと思う。

(会長)

本日の会議はこれをもって終了する。

以上